

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	72 人事制度等の見直し					重要度	B		
番号・取組事業名	72001	人事評価制度の適正な運用			作成日	R2.4.1		更新日	R3.3.31
担当部署	30200	総務部人事課			責任者	小島 利夫		担当者	人事・人材育成担当
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公務員法改正に対応した人事評価制度の構築 (職員に求められる能力と評価項目・評価基準との連携/評価精度の向上/公平性・公正性の確保) ・人材育成施策と連動した人事評価制度の運用の確立 (評価結果を活用した能力開発研修の実施) 								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	遅れている	評価者・被評価者研修の実施							
平成29年度	進んでいる	人事評価制度の規程の整備, 人事評価システムの整備, 評価者・被評価者研修の実施							
平成30年度	計画どおり	評価者・被評価者研修の実施, 能力開発研修の実施							
令和元年度	計画どおり	評価者・被評価者研修の実施, 能力開発研修の実施							
令和2年度	計画どおり	評価者・被評価者研修の実施, 評価結果開示に向けた規程等の整備							
成果指標	指標名	人事評価制度研修(評価者研修)受講者の累計(H28～H32)					単位	人	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		80	160	240	320	400	400	
	変更計画値	86(H27単年度)						0	
実績値		95	207	290	370	454	454		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)	当初計画額	制度理解・評価精度の向上→制度への信頼度・評価への納得度の高まり→人事評価制度を活用した人事管理・人材育成の推進	制度理解・評価精度の向上→制度への信頼度・評価への納得度の高まり→人事評価制度を活用した人事管理・人材育成の推進	制度理解・評価精度の向上→制度への信頼度・評価への納得度の高まり→人事評価制度を活用した人事管理・人材育成の推進	制度理解・評価精度の向上→制度への信頼度・評価への納得度の高まり→人事評価制度を活用した人事管理・人材育成の推進	制度理解・評価精度の向上→制度への信頼度・評価への納得度の高まり→人事評価制度を活用した人事管理・人材育成の推進		
		変更計画額							
		実績額							

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	72 人事制度等の見直し				重要度	B			
番号・取組事業名	72001	人事評価制度の適正な運用	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	30200	総務部人事課	責任者	小島 利夫	担当者	人事・人材育成担当			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	計画どおり	評価者・被評価者研修の実施, 評価結果開示に向けた規程等の整備							
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	人事評価システムの見直し		○	○					
2	評価者研修(課題設定・面談・評価)の実施		○						
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新型コロナウイルスの影響により研修の実施を見送った項目もあったが、人事評価制度にあつては地方公務員法において、任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とすることが位置付けられた重要な事項であるため、研修の実施方法を変えつつも、職層別の研修において、人事評価に関する部分を重点的に実施した。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	人事評価制度研修(評価者研修)受講者の累計(H28~H32)		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					400		454		
	達成状況【成果】	達成	コメント	新型コロナウイルスの影響により、各種研修の縮小や中止もあったが、人事評価に係る評価者・被評価者研修は研修の手法を工夫しながら実施することができた。研修の受講者数も計画値を超えることができたほか、受講後のアンケートにおいても受講者から高い評価を得ることができた。また、令和2年度は現行の人事評価制度の公正・公平・透明性を高めるため、評価結果の開示に向けた例規の改正と評価システムの改修を行った。令和3年度より評価結果の開示を行うため、評価者の評価スキルの向上や、被評価者の制度への正しい理解を高められるよう、職員への研修を強化していく。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント						
	計画値								
評価	評価者	高橋 直資	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント指示事項	令和3年度より人事評価結果の開示を開始するにあたって、制度の公正・公平・透明性を高めることが重要な課題となっている。そのため、所属長等を対象に、評価スキルの向上や被評価者に対する適正な指導・育成方法について理解を深めることを目的とした研修等を継続して実施するよう指示をした。					
	方向性	継続実施							